



江戸の大名屋敷物語

隅田川を中心に周辺流域の町の形成について

江戸における大名屋敷の配置から 町の成り立ちが見えてくる 何を意図して何を目的として その配置は決まったのか

■日時：2018年11月10日（土）14:00から16:00

■会場：竪川中学校体育館

（墨田区亀沢4-11-15 JR錦糸町駅徒歩10分）

■講演：岡本哲志（オカモトサトシ）氏

1952年生まれ

元法政大学教授 工学博士 都市形成史家

国内外の都市と水辺空間の調査と研究に携わる

銀座、丸の内、日本橋の都市形成史の研究を進める

NHKテレビ「ブラタモリ」に案内人として7回出演

■対談：岡本哲志 氏／五味和之 氏

五味和之（ゴミカズユキ）氏

1958年生まれ

墨田区文化振興財団 すみだ北斎美術館学芸員



主催：北斎通りまちづくりの会
「隅田川森羅万象墨に夢」実行委員会

共催：亀沢連合町会 墨田区

後援：東京建築士会 日本建築家協会城東地域会 東京東信用金庫

協力：竪川中学校青少年育成委員会 YKK株式会社 YKK AP株式会社

特別協賛：アサヒグループホールディングス株式会社

（本講演会は墨田区文化芸術プロジェクト「すみゆめ」採択企画です）

